

HSK

いちばんぼし

HSK 通巻202号

昭和48年1月13日第3種郵便物認可
平成元年2月10日発行 (毎月10日)

全国膠原病友の会北海道支部

いちばんぼし № 68

※※※※※※※※※※※※※※※※		※※※※※※※※※※※※※※※※
※		※
※		※
※		※
※	も く じ	※
※		※
※		※
※	1989. 2. 10	※
※		※
※	支部だより	※
※		※
※		※
※※※※※※※※※※※※※※※※		※※※※※※※※※※※※※※※※

◆年頭の挨拶にかえて	小寺 千明.....	1~ 2p
◆地区だより	<帯広>東 徳子.....	3p
	<北見>加藤 禎子.....	4p
	<旭川>藤原 篤子.....	5~ 6p
	<函館>小隅 千秋.....	7p
	<釧路>渡部 小夜子..	7~ 8p
◆おたよりコーナー	9~14p
◆北海道難病連旭川支部		
	“クリスマスパーティーに参加して”	
	滝本 はるよ...	15p
◆質問BOX	16~19p
◆膠原病アラカルト	20p
◆事務局からのお知らせ	21~22p
◆あとがき	23p



※※※



年頭の挨拶にかえて 〈支部長〉小寺千明

友の会の皆様、新しい年を迎えいかがお過ごしでしょうか。今年も新年早々、昭和から平成に元号が変わり、いつもとはまた違った思いで過ごされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。


日本だけのこととはいえ、平成という新しい時代を迎えながら、私達難病患者にとっては当然のことながらきびしい現実があるだけで、なんら変わることはありません。このきびしい現実から目をそむけることなく、しっかりと見据えて微力ながら一歩一歩前進して参りましょう。

友の会道支部が発足して、今年で17年になります。その間の活動は決して平坦なものではなく、苦難の道程であったことは言うまでもありません。特に最近の活動は、社会情勢の変化に伴って変わらざるを得なくなってきました。

でもそんな中で、私達が見失ってはいけないことがあります。それは、常に原点にかえることです。「なぜ私達の先輩が患者会をつくらなければならなかったのか」を考え直すことです。そして私達患者自身が会を支えてきたこと、育ててきたことを誇りに思い、患者のための会であることをもう一度認識したいと思います。

年頭の挨拶としては具体性に欠ける話になってしまいましたが、出来るだけ多くの会員の皆様に参加していただくための支部総会の計画も進められています。

今年もどうぞよろしくお付き合い下さい。



★第16回難病患者・障害者と家族の全道集会(とち)★

〈と き〉 1989年8月5日(土)、6日(日)


〈と ころ〉 音更町文化センター

☆(十勝川温泉で1泊(レセプション・分科会)
オプションで然別温泉にも1泊

☆ 参加費... 2泊3日全食事付、交通費含めて

大人 25,000円、子供 15,000円(予定)

☆ 札幌・旭川・函館・室蘭・釧路・根室方面よりバス旅行



毎年6月に開催している友の会の総会を、全道集会に併せて開催いたします。一人でも多くの方に参加していただけるよう、会からの補助も検討しています。
詳しくは後ほどご案内いたします。

*今年も各地区連絡会の相談・連絡担当の皆さんに「年頭にあって」又は「新年の抱負」と題して書いていただきました。各地区の様子を少しでも身近に感じていただければ幸いです



★巳年、ゆったりと

帯広地区...東 徳子

当然のことながら、平成元年だからといって何もかも新しいことを始めるというわけにもいかず、今年は帯広地区としては、昨年やった種々の事柄がどれだけ、どんな形で成果となって各自に反映されるのでしょうか、楽しみでもあります。

毎月のように集まりを持ち、その中には初めての日帰り温泉行きも9月に実行しました。逢ってお話をする、回を重ねていけばそれだけ親しみも増すわけで、何よりもお互いに識り合うことが大切だとみんな考えました。

又、10月生れの人から花束のバースデープレゼント(ほんの一握り)、暮れには名簿の完成、これは様々な角度からの自己紹介めいた楽しいもので、会員のワープロ協力でとても見やすく立派なものが出来上がりました。1年間としては少し盛沢山過ぎたかなと思いますが、一応皆さんからは喜んでいただけたよ

うです。今年は一巡する9月生れの方迄、花束贈りを続行し、せっかく出来上った名簿ですからこれを上手に活用したいと考えています。会合のお知らせも今迄は世話係がやっていたが、これをページ順に連絡し合う、出来るだけ横の連携を深めたいと思います。又、集会も今ひとつ内容のある、少しでも楽しみながら教養が身につくみたいになったらなあと思っています。

一步後退、一・五歩前進ぐらいのゆったりしたリズムで、平成という年号の意味を全員よく噛みしめて、仲良くやっていきたいと思っております。

★寒中お見舞申し上げます



北見地区... 加藤 禎子

北見の友の会は、今まで会員相互の親睦を深める事をオーに考えてきたつもりでした。昨年6月に遠軽での交流会に初めてお会いする方とお話し、12月の集まりにその時に出席して下さった方々が北見まで来て下さり、嬉しさで親睦の狭さを感じて、今まで北見でばかり集まった事を深く反省しております。この2回の集まりで色々な不安や心配を知りましたが、交流会に出席できなかつた方や、会員以外の方で一人で悩んでいる方がどれ程多いかと考えております。悩みを解決する事も大切ですが、

悩みを聞く人がいるかいないかはとても大切な事と思います。
そのためにも、友の会があるという事を知らせていく方法を考
えていきたいと思っております。

又、学習会は昨年は出来ずに終わってしまいました。今年は会
員以外の方を含めた学習会をぜひ行ないたいと考えています。
膠原病で死亡するという事は少なくなりましたが、長い療養生
活に伴う悩みも増えてきており、死という事とともに生き方を
しっかりと受け入れていく学習も必要な時なのかもしれません。

昨年11月、頼りにしておりました知本先生が亡くなり、多く
の患者が非常なショックを受けました。会の事でも色々相談に
のっていただき、優しさに甘えてわがままを言っておりました。
ほとんどの会員が落ちついた状態ですので、これを長く保つ事
が先生へのお礼と考えております。

これからの事はいずれはっきりさせた上で、計画を立ててい
きたいと思っております。宜しくご指導下さいませ。

★友の会、難病連の発展を願って



旭川地区... 藤原 篤子

会員の皆様こんにちわ。平成という新しい時代を迎え、病気
の方も平静であって欲しいと願うのは私だけではないと思いま
す。如何でしょう？

難病というものがこの世からなくなれば幸いです。現実にはそうではありませんね。それならば、やはり病気を正しく知り、勇気をもって一緒に生活して行かなければなりません。そんな生活の中に友の会があり、私は今、旭川地区を担当させていただいています。長坂さんの後を引き継ぎ一年になろうとしています。

60年に入会した時、「同じ病気で悩んでいる方が沢山居るのだ」「不安ばかりの毎日を過ごしているのは私だけではない事」を知りました。これが入会してからの最初のメリットでした。そして61年から研修会、全道集会、合同レク、総会等々、いつの間にか難病連の方にも顔を出すようになっていました。そこでもっともっと多くの仲間に出会い、自分よりも大変な生活をしている方々を知る事ができました。これが二つめのメリットになるのでしょうか？

そして今、こんな中でのお手伝いをしているのですが、人との出会い程大切な事はないと思います。先ず、自分のとなりの人と語り合ってみませんか？ そしてそれが友の会、難病連の発展につながり、力となって行くと思います。他人の会ではなく自分たちの会です。私たちの手で作って行こうではありませんか。

平成元年、旭川地区の新年会は多くの会員さんに声をかけ

近く行われます。色々な事を語り合いたいと思っています。

★交流の場を大切に



函館地区...小隅 千秋

函館地区では去年は3回の集まりを持つことができました。やはり集まると、話すことは皆同じで、「身体の調子はいかがですか」と、お互いに身体の事を心配し合っていました。

今年は新しい会員の方との交流の場を多くつくりたいと思っています。去年の集まりの中で色々な意見が出て、それを今年は何とか実行という形にもって行きたいと思っています。

★気持ちも新たに



釧路地区...渡部 小夜子

友の会の皆様、明けましておめでとうございます。

年代も昭和から平成へと改まり、時代の節目を生きる事となった私達、気持ち新たに本年も力を合わせて友の会の発展のため、頑張りましょう。

さて、釧路地区連絡会、今年の抱負等と大袈裟なものはありませんけれど、医療相談会だけはぜひやりたいと考えています。それと、お隣の街、帯広市での全道集会にはできるだけ多くの

仲間と共に参加したいと思っています。汽車だと2時間位です
からあまり疲れないし、修学旅行みたいな楽しい気持で行き、
全道の仲間と交流出来ればと夢を描いています。皆様もぜひ、
道東にお出かけ下さいね。

本年も何卒、宜しく御指導をお願い致します。



海藻エキス配合

美泉 クリ〜ム シャンプ〜

の販売に
ご協力下さい。

シャンプーの特徴

- "髪には海藻、"といわれる海藻エキスの配合で頭皮と毛髪をすこやかに保ち、髪をしなやかに色艶よく洗い上げます。
- フケ・カユミをとり、しっとりした爽やかな洗い上りで、洗髪後のお手入れが簡単、ボディシャンプーにも使えます。
〈チューブ入り180g 700円を600円で販売〉※1本につき130円が友の会の利益になります。

職場や地域、グループなどで1箱(60本)又は30本単位で扱って下さると、ありがたいのですが…

他にも誰にも飲みやすい、健康茶 野草ほうじ茶 1本450円、カロリー乾パン(1袋300円)も扱っています。

—お申し込み、お問い合わせは、友の会事務局

(雑病センター内 長谷川まで。) —



おたよりコーナー

今年もたくさんの皆様より年賀状をいただきました。この場を借り厚くお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

ここに、お名前のみご紹介させていただきます。

(敬称略、順不同)

- | | |
|-----------------|--------|
| 。全国膠原病友の会 | 寺山 魚み |
| 。全国膠原病友の会 宮城県支部 | 役員一同 |
| 。 ” 大阪支部 | 役員一同 |
| 。 ” 広島県支部 | 沖政 ミスエ |
| 。 ” ” | 山田 元久 |
| 。 ” 岡山支部 | 六野 恵子 |
| 。 ” 栃木県支部 | 玉木 朝子 |
| 。 ” 埼玉支部 | 森田 かよ子 |
| 。 ” 滋賀支部 | 吉田 その子 |
| 。 ” 愛知県支部 | 金山 美代子 |
| 。 ” 群馬支部 | 丸江 正江 |
| 。 ” 兵庫支部 | 峯岸 美智子 |
| 。 ” 京都支部 | 役員一同 |
| 。 ” 奈良支部 | 好沢 由美子 |
| 。 ” 東京支部 | 河村 真澄 |
| 。 ” 関西ブロック | 松林 文子 |
| 。 ” 千葉支部 | 杉山 ひろみ |



- 奈良市 藤村 佳子
- 千葉市 森 美智子
- 東京都 佐藤 工ミ子
- 本別町 大通 むつ子
- 今金町 小隅 千秋
- 上磯町 秋元 清美
- 二七〇町 今井 勝彦
- 浜中町 小野 由美子
- 小樽市 村井 恵子
- 室蘭市 市橋 菜
- 伊達市 松本 香里
- 根室市 別所 夫二
- 函館市 近藤 和子
- 北見市 加藤 禎子
- 苫小牧市 中村 アヤ
- 旭川市 小杉 真智子
- 釧路市 関川 みよ
- 釧路市 鈴木 裕子
- 深川市 松崎 道幸
- 帯広市 藤田 浩子
- 帯広市 金田 律子



- 札幌市 北海道オフィスプロダクツ
- 長崎県 入江 奈穂子
- 神奈川県 西来 武治
- 遠軽町 澤田 ゆかり
- 清里町 吉倉 亜紀子
- 美瑛町 高野 由香
- 上磯川町 清水 五郎
- 夕張市 大沼 節子
- 江別市 太田 恭子
- 富良野市 徳山 都
- 芦別市 竹田 キミ子
- 函館市 船樹 玲子
- 北見市 信本 和美
- 北見市 堀畑 まつよ
- 苫小牧市 伊藤 粹裕
- 旭川市 長坂 由美子
- 釧路市 渡部 小夜子
- 深川市 三谷 真千子
- 深川市 新田 栄子
- 帯広市 荒尾 みや子
- 帯広市 館村 洋子

・札幌市 渡辺 弘子

・札幌市 林田 佑子

・札幌市 蛸子 クニ子

・札幌市 高松 美知子

・札幌市 滝本 はるよ

・札幌市 高嶋 英子



・札幌市 片桐 幸子

・札幌市 荒木 マツ子

・札幌市 畑中 豊子

・札幌市 渡部 清深

・札幌市 近江 葉子

・札幌市 深尾 桂子



〈芦別市〉竹田 キミ子



朝夕の冷え込みが体にこたえる今日この頃、ついに雪が降り積もり出しました。このまま根雪になるのか気になります。

発病以来丸3年が過ぎ、やっと病気と仲よく過ごすことに慣れたのか、今年はあまりトラブルを起こさず暮らしております。皆様にも充分に体に気をつけられてお過ごし下さい。



〈浜中町〉小野 夕美子



先日はお誕生日カード有難うございます。42才になって初めての事で、何才になっても嬉しいものですね。平成元年になってすぐの事でしたので、とてもいい年になりそうです。これからも宜しく願いすると共に、皆さんも健康に気をつけて下さい。



っていただき本当にありがとうございました。読みやすい内容と字の大きさにとても心の暖かさを感じました。どうかこれからもがんばって下さいませ。ありがとうございました。



〈札幌市〉井上 キヌ

前略、誕生日祝のお手紙を戴きまして大変嬉しゅうございました。有難う御座いました。皆様の御力添えと御世話を戴きまして、お陰様で恙なく過ごさせていただいて居ります。心から感謝致します。私の身体の状態はお陰様でまあまあと言うところ、何とか元気に過ごして居ります。寒さにもめげず一生懸命生きて行くつもりで居ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

末筆ですが、会の皆様によろしくお伝え下さいませ。

〈江別市〉太田 恭子

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはお変わりなくお暮しのことと思います。

1月16日(月) 1時より、友の会の新年会が中井先生をお招きして札幌厚生年金会館で行なわれ、私は62年9月に入会して以来初めて参加させていただきました。

北海道難病連 旭川支部

★3 オ2回クリスマスパーティーに参加して



(札幌市) 滝本 はるよ

去る12月11日(日)、旭川で行なわれたクリスマスパーティーに支部長の小寺さんと参加させていただきました。

当日はあいにくの大雪でしたが、とても大勢の参加でした。パーティーは、難病連旭川支部の滝田さんと北海道難病連専務理事の伊藤さんの開会の言葉の後、シャンペンで乾杯し始めました。皆さん各部会に分かれてお料理を食べたり、お酒を飲んだり、とても楽しそうな雰囲気の中、小杉さんの司会でチャリティーオークションが行なわれ、みかん一箱、ワリッカ、日本酒等に人気が集まっていました。

そして、お楽しみ抽選会では残念ながら私達のテーブルからは“当り”は出ませんでした。空クジなしで全員にコーヒー、紅茶、タオル、置物等、素敵な賞品が沢山用意され、皆さんとっても大喜びでした。最後は、クリスマスらしく全員で「聖夜」を大合唱し閉会となりました。

昨年は、札幌地区ではクリスマスパーティーが行なわれませんでしたので、飛び入りで参加させてもらい、とても楽しいひとときを過ごさせていただきました。準備なされた方、ボランティアの方、本当に御苦勞様でした。これからも3回、4回とすばらしいパーティーをつくって行って下さい。

て起こってきますが、どれ一つとしてこの病気だけに特徴的というものはありません。

〈診断〉

従って診断をつけるには症状のみでは大変難しく、動脈炎そのものをとらえなければ確実なことは言えません。そのため血管造影をしたり、体の組織の一部を取って（生検）調べなければなりません。しかしそれでもなおはっきりしたものをつかめるとは限らず、診断の難しい病気の一つです。なお厚生省研究班では「診断の手引き」という基準を作っており、私達もそれを参考にしています。（19頁を参照）

〈治療〉

この病気は治療をしなければどんどん悪くなるおそれがあり、診断をしたら直ちに治療に入ります。その中心は副腎皮質ホルモンで大量に使う必要があります。また免疫抑制剤（エンドキサン、イムランなど）も合わせて使うともっと治療効果は上がります。診断が難しいこと（診断までに時間がかかる）と、重症の疾患である（急速に悪化するおそれがある）という点から、早期診断・早期治療が特に大切な疾患です。

〈日常生活上の注意〉

まず薬を医師の処方どおりきちんと服用することです。もし薬による副作用と思われることが起これば、直ちに主治医に相

談して下さい。血管の病気ですから血液の流れに悪影響を及ぼすと思われることは避けるべきです。(喫煙、寒冷暴露など)

そのほか規則正しい生活と食事を守り、過労を避け、何か変わった症状があれば、直ちに主治医に相談するようにして下さい。



膠原病と診断された時、あなたはどうしましたか。
病気についての情報がなく、困ったことはありませんか。
家庭医学書を読んで少しでも多くのことを、それも安心できる情報を探し求めませんでしたか。そして、何度かの失敗(入院したり、薬の量が増えたり)を繰り返し、病気との付き合い方を学んだのではないのでしょうか....。

そんな経験を後輩(?)に伝えていきませんか。この病気の原因が究明されない限り、新しい患者は増え続けることでしょう。

あなたのチエを聞かせて下さい。

匿名でもかまいませんので、事務局へお知らせ下さい。

診断基準とその解説

結節性動脈周囲炎診断の手引き

【主要症状】

- 1 発熱（週4日以上，38℃以上）
- 2 (1)腎生検で特徴的な組織像
(2)蛋白尿と血尿，円柱尿
(3)高尿素血症（20mg / dl以上）
- 3 末梢神経炎
- 4 筋症状（筋痛，筋力低下，運動制限）
- 5 白血球増多症（1万/mm³以上）
- 6 好酸球増多症（300/mm³以上）
- 7 皮膚症状（結節，丘疹，紫斑，潰瘍，壊疽など）
- 8 肺症状（肺炎，線維症，喘息など）
- 9 消化器症状（吐血，下血，腹痛など）
- 10 体重減少（6カ月以内に6kg以上の減少）
- 11 高血圧
- 12 心症状（狭心症や心電図異常所見など）
- 13 関節痛
- 14 中枢神経症状
- 15 血小板増多症（40万/mm³以上）

【組織所見】

定型的な動脈炎の存在
（弾力線維の断裂を伴う血管全層炎であること）

【除外項目】

- 1 SLE
- 2 慢性関節リウマチ
- 3 ビュルガー病
- 4 大動脈炎症候群
- 5 血栓性血小板減少性紫斑病

【判定】

主要症状が少なくとも2項目と組織所見のあるものを「確定的」，主要症状が少なくとも1項目と組織所見のあるもの，または主要症状が少なくとも7項目あるとき「疑い」とする。

ただし，除外項目は1項あってもいけない。

伝達物質アセチルコリンの受け皿に「毒」をする抗体ができ、情報が伝わらなくなってしまう。

関節の骨が傷む関節リウマチ、多くの円形脱毛症も毛根が攻撃される自己免疫病だ。

自己免疫病とは分かっていても、免疫がなぜ自分を他人と錯覚するのかの根本的原因は未解明だ。

今のところ「遺伝的な体質に加え、何か引き金になって」との説が有力だ。「引き金の候補は例えば何かのウイルス、ウイルスが毒を運ぶ細胞、臓器に侵入したとすれば、過剰な免疫反応が起る。私たちにそのウイルスが見えないだけなのだ」という説だ。

B型肝炎ウイルスによる肝炎はこの形だ。ウイルスが肝細胞に入ると、免疫機構はその細胞を激しく攻撃し始める。ウイルスの毒がなく、自分の免疫力で肝臓がやっつけられる。

B型肝炎ウイルスの代わりに、回虫卵をしないウイルスがいるだけなのに、これに対して免疫が攻撃をしかけて、自分の細胞もろともやっつけている「毒気」も取り除かれる。

また、何らかの原因で、体内の細胞が「変化」、免疫システムに「異物」扱いされるようになることも考えられるという。

自己免疫病には、特効薬がない。今は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

多くの難病に関係?

やしたり、日光に当たったり、無理をすると炎症が悪化する。

何がこんな病気を起こすのか。長い間なだっていた。「犯人は自分自身。外敵をやっつけるべき免疫機構が、間違っていて自分の細胞を攻撃しているのです」と国松博士・島根医科大学教授。

私たちの体を守る免疫システムには①外敵と味方(自分)を区別し②外敵に集中攻撃をかける、という二つの大きな原則がある。その①に少し狂いが出ているのだ。

「リウマチかな?」。「全国勝(こう)原病友の会」の事務局長寺山あきさん(68)は、関節の痛みがひどくよくなりましたとき、まさそう願った。一九八四年ころのことだ。

五年後、今度は慢性じん炎の診断。さらに翌年、四〇度の熱が出て入院した。腰水がたまるとはならず、検査を繰り返したが原因は分からない。病名がついたのは、三方尾藤(たか)た。全身性エリマトマトキス(SLE)。聞いたことのない長い名前だった。SLEは、強皮症、シェーグレン症候群などと同じ膠原病の仲間だ。

不眠症が続き、口内炎や脱毛、関節の痛み、日光による皮膚の赤斑(はく)り、関節がはれる、髪が抜け、耳の先が白くなる現象も起る。じつと全身が、体を支

自分の赤血球や白血球、細胞の核であるDNA、などいろんなものに対する抗体がある。抗体は本来、外敵(抗原)をやっつけるために作るものだが、なぜか自分の細胞をのぞいて自己免疫病を起す。

外敵用の武器が自分を攻撃するのなら、やっかいた。今では「難病の隣に自己免疫病」といわれるほど、多くの病気に関係することがわかってきた。

例えば、ある種の膠原病。インシリンを作る細胞への自己抗体ができて、インシリンが不足する。インシリンは血液中の血糖をエネルギーに使うための必要品だから、これが減れば血液中の血糖値があがる。

重症筋無力症。「筋肉を動かさず」という情報を伝える神経

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

からだをからだを

「リウマチかな?」。「全国勝(こう)原病友の会」の事務局長寺山あきさん(68)は、関節の痛みがひどくよくなりましたとき、まさそう願った。一九八四年ころのことだ。

五年後、今度は慢性じん炎の診断。さらに翌年、四〇度の熱が出て入院した。腰水がたまるとはならず、検査を繰り返したが原因は分からない。病名がついたのは、三方尾藤(たか)た。全身性エリマトマトキス(SLE)。聞いたことのない長い名前だった。SLEは、強皮症、シェーグレン症候群などと同じ膠原病の仲間だ。

不眠症が続き、口内炎や脱毛、関節の痛み、日光による皮膚の赤斑(はく)り、関節がはれる、髪が抜け、耳の先が白くなる現象も起る。じつと全身が、体を支

自分の赤血球や白血球、細胞の核であるDNA、などいろんなものに対する抗体がある。抗体は本来、外敵(抗原)をやっつけるために作るものだが、なぜか自分の細胞をのぞいて自己免疫病を起す。

外敵用の武器が自分を攻撃するのなら、やっかいた。今では「難病の隣に自己免疫病」といわれるほど、多くの病気に関係することがわかってきた。

例えば、ある種の膠原病。インシリンを作る細胞への自己抗体ができて、インシリンが不足する。インシリンは血液中の血糖をエネルギーに使うための必要品だから、これが減れば血液中の血糖値があがる。

重症筋無力症。「筋肉を動かさず」という情報を伝える神経

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

「関節炎」は、免疫の作用を抑制する薬、炎症を抑えるステロイド剤が主薬だ。病気が悪化すると呼吸器を取り上げるとして病気を抑えかねない難病でもある。やはり過剰な免疫力が働いて他の病気に加わってしまったり。免疫を、そいつとたたきながらの戦いになったりして生活が求められる。

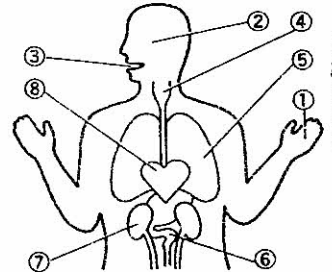
1989.1.15
朝日新聞
「日曜版」より

1989.2.19
朝日新聞
「日曜版」より

膠原病アラカルト

今回より新しいコーナー「膠原病アラカルト」を設け、新聞・雑誌などから膠原病に関する情報を皆さんへお届けいたします。

どっぴりました



強皮症で多い症状は、①手の指に現れる「リウマチ」現象だが、そのほか、一部に起る症状は、腕や胸の皮膚の硬化をはじめ、②顔の皮膚のむくみ、③口を開けられず、④上唇の皮膚のむくみ、⑤食道下部の拡張やけい、⑥腸運動の低下、⑦胃液の逆流による食道炎、⑧肺下部の肺線維症、⑨小腸拡張や消化不良、⑩悪性高血圧や腎臓病、⑪心筋線維症の不整脈などがある。(それぞれ部位は図の同じ数字で示す場所)

問 厚生省の難病指定になつて

五十三歳の主婦。三年ほど前から寒くなる。手の指先が青白く、痛くて感覚が鈍く、痛みも感じないようになりました。二十分くらいで治りますが、一日に何回も繰り返して起きます。また、手の指や足が太くなり、指輪や靴がきつくなりました。病院で検査を受けたら膠原(こうげん)病の一種の強皮症だといわれました。病院でもらったビタミンEなどを飲んでいますが、原因不明で治療法も分からない病気とも聞きました。どうなのでしょう。(京都・N)

問 どんな病気ですか。
答 動物の細胞はバラバラに結び合っています。そのうちの膠原線維が悪くなる一連の病気が



答える人
岡山大学医学部講師
宮脇 昌二
(内科)

下という比較的まれな病気で、男女比はほぼ一対五。特に三十代から五十代の女性に多く見られる病気です。自分の体に対する抗体ができる自己免疫疾患だと考えられています。原因は完全には分かっていますが、

問 症状は。
答 特効薬と言えないものは、

問 治療法は。
答 特効薬と言えないものは、

問 治療法は。
答 特効薬と言えないものは、

問 治療法は。
答 特効薬と言えないものは、

問 治療法は。
答 特効薬と言えないものは、

問 治療法は。
答 特効薬と言えないものは、

問 治療法は。
答 特効薬と言えないものは、

問 治療法は。
答 特効薬と言えないものは、

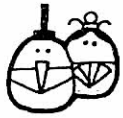
問 治療法は。
答 特効薬と言えないものは、

防寒十分に、小さな傷も用心

また見つかりませんが、それぞれ症状は抑えられるようになってきました。この質問者のように症状が軽いうちに発見された場合は、少量の副腎皮質ホルモンを投与すると、手の指以外の皮膚のはれは軽くなることも多いようです。また、ビタミンEなど血管拡張剤、胃酸を抑える

で気を付けることは。
答 寒さが大敵です。外出時は厚着し、特に指を手袋で保護することを忘れず。炊事もお湯を使うなど気を付けること。あかきれやひび割れができやすく治りにくいので、小さな傷でもよく消毒して下さい。食道や腸が弱ることもあるので、消化

で気を付けることは。
答 寒さが大敵です。外出時は厚着し、特に指を手袋で保護することを忘れず。炊事もお湯を使うなど気を付けること。あかきれやひび割れができやすく治りにくいので、小さな傷でもよく消毒して下さい。食道や腸が弱ることもあるので、消化



事務局からのお知らせ

=1989.1.9現在=

📬 ご寄付いただきました。

- 長谷山 順子 様 1,000円
- 太田 恭子 様 10,000円
- 荒井 ジユ 様 2,000円
- 荒井 孝子 様 2,000円
- 野田 久美子 様 2,000円
- 後藤 高德 様 2,000円
- 荒井 ヨシ子 様 2,000円
- 市立函館保健所予防課 様 2,350円
- 柴田 宣子 様 800円
- 荒井 信子 様 2,000円
- 中山 美津子 様 2,000円
- 井上 節子 様 2,000円
- 田畑 信一 様 2,000円

◦ ~~あり~~ ありがとうございます。

📬 新しく入会された方達です。



- 山田 恵子 (SLE, S.37.1.28生)
- 諸橋 安子 (皮膚筋炎、強皮症, S.7.12.12生)
- 平沢 美智子 (シェーグレン症候群, S.13.1.14生)
- 大通 むつ子 (シェーグレン症候群, S.25.1.15生)



平成元年も2ヶ月近く過ぎてしまいましたが、皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。

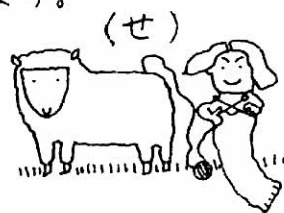
去年は特に大きな行事もなく、会としては平々凡々と送ったような気がしますが、誕生カードを始めて皆さんからお礼の手紙などをいただくと、嬉しさと「やってよかったな」という満足感がありました。

各地区の皆さんも着実に活動しているようですね。近くにいても遠く離れていても、心の通い合う友の会でありたいと思います。

今年は帯広で行われる全道集会は総会も兼ねることになりましたので、より多くの皆さんに来ていただいて楽しまれることを希望しています。

皆さん、今年も身体を大切にしながらマイペースで確実に歩いて行きましょう。風邪が流行っているようですので、充分お気をつけ下さい。

最後に、新年号が遅れたことをお詫びします。



いかりや長介夫人の死亡の報道に関して、動揺を受けている人が多いかと思いますが、マスコミというのとはとかく事実以上に大げさに報道する傾向があります。

発症状況や経過は個々に異なりますので、皆さんは自分の状況を冷静に把握し、まどわされないようにして下さい。尚、疑問の点がありましたら、主治医あるいは友の会にお問い合わせ下さい。

編集人 全国膠原病友の会北海道支部
編集責任者 小寺 千明

〒064 札幌市中央区南4条西10丁目
北海道難病センター内 ☎(011) 512-3233

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
東区北8条東1丁目 神原 義郎

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 H S K 通巻202号 頒価 100円
いちばんぼし 68 平成元年2月10日発行 (毎月1回10日発行)
